

第2期 いきいき市民健康プラン

「歯と口の健康づくり」

8020 達成率調査

報 告 書



令和4年3月

仙 台 市

【目次】

I. 調査の概要

- 1. 調査の目的 1
- 2. 調査の概要 1

II. 調査結果の概要

- 1. 対象者の属性 2
- 2. 歯および口腔の状況
 - (1) 「80歳で20本以上自分の歯を有する者の割合の増加」の達成状況 3
 - (2) 現在歯及び喪失歯の補綴の状況 4
 - (3) 歯周組織の状況 4
- 3. 歯科保健行動等
 - (1) 現在の健康状態 5
 - (2) 食生活及び喫煙の状況 5
 - (3) 歯科保健行動等 6
 - (4) 口腔機能の状況 8
- 4. 8020達成者と非達成者の口腔内状況および歯科保健行動等について
 - (1) 8020達成者と非達成者の性別構成 10
 - (2) 口腔状況について 10
 - (3) 歯科保健行動等について 11
 - (4) 口腔機能の状況について 12
- 5. まとめ 13
- 歯科健康診査票 14

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本市の「第2期いきいき市民健康プラン後期計画（平成30年3月策定）」は、乳幼児から高齢者までのあらゆる世代の市民を対象とした健康づくり計画として位置付けており、令和4年度に最終評価年を迎える。

今回の調査は、本計画の重点分野「生きる力を支える歯と口の健康づくり」において設定した健康指標「80歳（75～84歳）で20歯以上有する人の増加」の達成状況を把握するとともに、平成21年度及び平成28年度に実施した調査結果と比較しながら、仙台市における高齢者の歯と口の健康づくりの実状を把握し、次期計画策定の基礎資料に資することを目的とする。

2. 調査の概要

- | | |
|----------|---|
| (1) 調査地区 | 仙台市全域 |
| (2) 調査対象 | 75歳～84歳までの男女 |
| (3) 標本数 | 2,000人 |
| (4) 調査方法 | 調査対象者に受診券・歯科健康診査票を郵送し、歯科登録医療機関にて口腔診査（歯科健康診査）を実施 |
| (5) 調査期間 | 令和3年10月1日～11月30日 |
| (6) 抽出方法 | 住民基本台帳より男女比，年齢構成，居住区等を考慮のうえ，無作為抽出 |
| (7) 調査項目 | 1) 問診項目
①基本属性(年齢・性)
②主観的健康状態
③食生活及び喫煙について
④歯科保健行動について
⑤口腔機能の状況について
2) 口腔診査
①現在歯の状況
②むし歯(う蝕)の罹患状況
③歯周病の罹患状況
④喪失歯と補綴状況
⑤口腔清掃状況 |

II. 調査結果の概要

今回、調査対象として抽出された75～84歳の市民の被調査者は2,000人であったが、実際に受診した511人についての調査結果は以下のとおりである。

1. 対象者の属性

本調査への参加者（受診者）は511人（男性244人、女性267人）で、転居先不明等により受診券が返送された4人を除いた全体の受診率は25.6%であった。性別の受診率は、男性が28.3%で、女性の23.5%より4.8ポイント高かった（表1）。

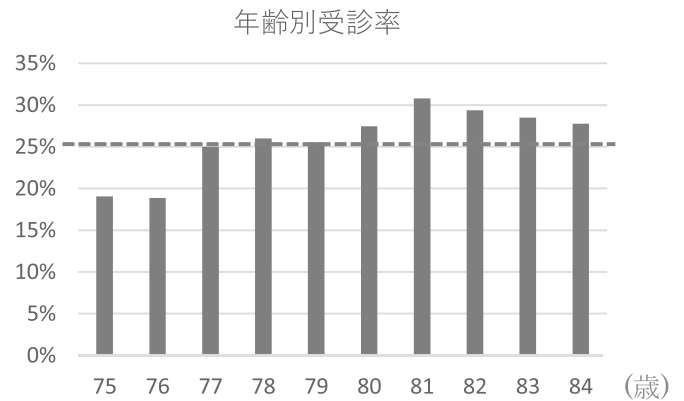
表1 受診者の性別

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率 (%)
男	862	244	28.3%
女	1138	267	23.5%
合計	2000	511	25.6%

年齢別の受診率は77歳以上で25%を超えていた（表2）。

表2 受診者の年齢

年齢	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率 (%)
75歳	189	36	19.0%
76歳	228	43	18.9%
77歳	256	64	25.0%
78歳	227	59	26.0%
79歳	227	58	25.6%
80歳	204	56	27.5%
81歳	182	56	30.8%
82歳	160	47	29.4%
83歳	172	49	28.5%
84歳	155	43	27.7%
合計	2000	511	25.6%



居住区別の受診率は、泉区と太白区でやや高かった（表3）。

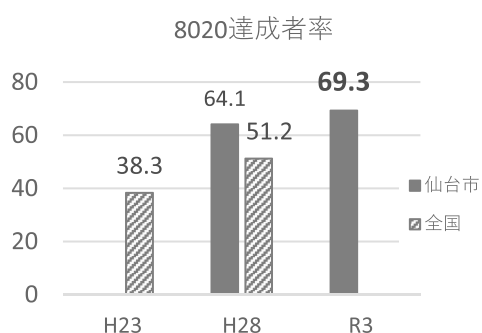
表3 居住区別受診者数と受診率および構成割合

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率 (%)	構成比 (%)
青葉区	534	126	23.6%	24.7%
宮城野区	315	76	24.1%	14.9%
若林区	240	57	23.8%	11.2%
太白区	461	121	26.2%	23.7%
泉区	450	131	29.1%	25.6%
合計	2000	511	25.6%	100%

2. 歯および口腔の状況

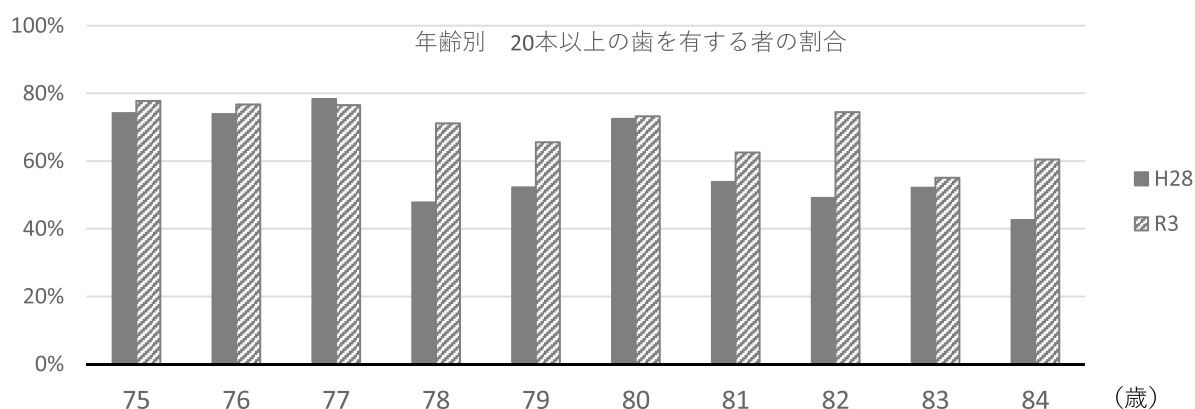
(1) 「80歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合の増加」の達成状況

第2期いきいき市民健康プランでは「80歳（75～84歳）で20歯以上自分の歯を有する人の増加」を指標としている。被調査者となった511人の内、20本以上自分の歯を保有している者は全体の69.3%で、平成28年度調査と比較すると5.2ポイント増加していた。また、平成28年度に厚生労働省が行った「歯科疾患実態調査（全国）」と比較したところ、仙台市は平成28年度時点で12.9ポイント、今回調査では18.1ポイント高かった。



	H21		H28		R3	
	件数	%	件数	%	件数	%
20歯以上	287	46.5%	371	64.1%	354	69.3%
19歯以下	330	53.5%	208	35.9%	157	30.7%

また、年齢別の20本以上の歯の保有者率は、77歳を除いた全ての年齢で、平成28年度よりも増加していた。



年齢	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84
H28(%)	74.2%	73.9%	78.3%	47.8%	52.2%	72.5%	53.8%	49.1%	52.1%	42.6%
R3(%)	77.8%	76.7%	76.6%	71.2%	65.5%	73.2%	62.5%	74.5%	55.1%	60.5%
(人)	28	33	49	42	38	41	35	35	27	26

(2) 現在歯及び喪失歯の補綴の状況

被調査者全体の一人平均現在歯数は、21.0本であった。年齢別に見ると、80歳までは20本以上であるが、81歳以降はほとんどの年齢で20本に達していなかった。性別では男性が21.2本、女性が20.8本となっており、男性の方が多くの歯を保有していた(表4)。

一人平均現在歯数の内訳は、健全歯7.1本、処置歯13.0本、未処置歯0.9本であった。喪失歯を義歯等で修復する補綴処置が完了している人は全体の78.7%であった。

また、自分の歯が全くない無歯顎の人は2.3%(12人)であった。

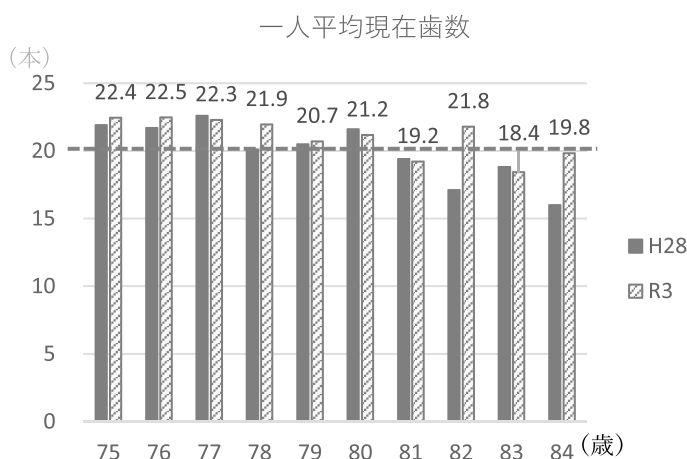


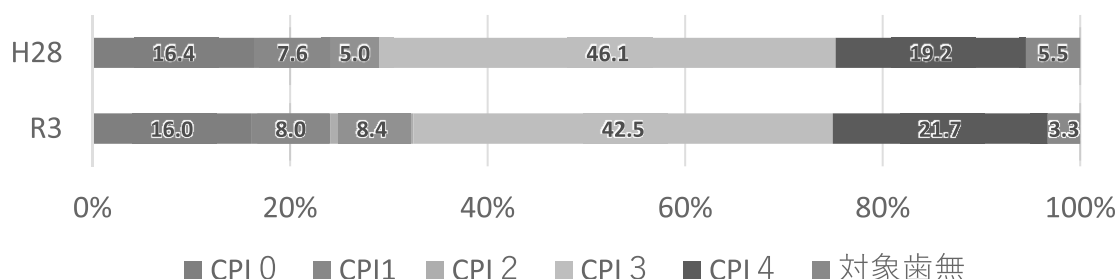
表4 現在歯及び喪失歯の状況

	R3			H28	
	男性	女性	全体	全体	
一人平均歯数	現在歯数	21.2	20.8	21.0	20.1
	健全歯数	7.8	6.5	7.1	6.8
	処置歯数	12.5	13.5	13.0	12.3
欠損部	未処置歯数	1.0	0.8	0.9	1.1
	補綴完了(%)	73.9	83.1	78.7	64.8
	無歯顎者(%)	1.6	3.0	2.3	3.6

年齢(歳)	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	計
H28	21.9	21.7	22.6	20.1	20.5	21.6	19.4	17.1	18.8	16.0	20.1
R3	22.4	22.5	22.3	21.9	20.7	21.2	19.2	21.8	18.4	19.8	21.0

(3) 歯周組織の状況

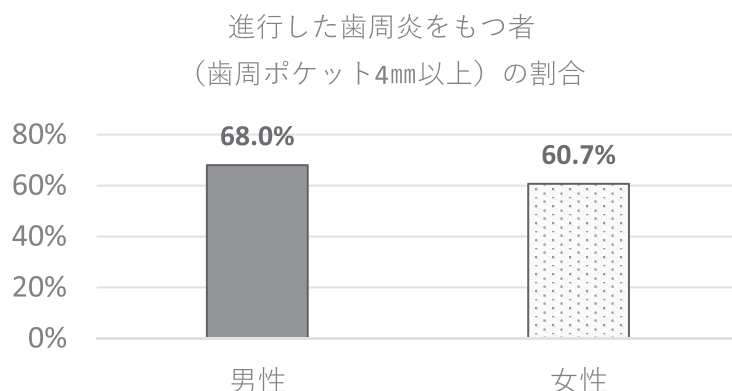
歯周病の罹患状況および進行度をCPI (Community Periodontal Index) を用いて、判定したところ、進行した歯周炎(旧区分CPI 3以上)に罹患していると判定された人は全体の64.2%と半数を超え、平成28年度よりも1.1ポイント減少していた。



CPI	CPI 0	CPI 1	CPI 2	CPI 3	CPI 4	対象歯無
人数	82	41	43	217	111	17
%	16.0%	8.0%	8.4%	42.5%	21.7%	3.3%

注：平成28年度より新基準による歯周組織検査に変更されたが、前回調査との比較のために前回と同基準のCPI値で結果を示す。

進行した歯周炎をもつ者は、男性 68.0%、女性 60.7%であり、男性で多かった



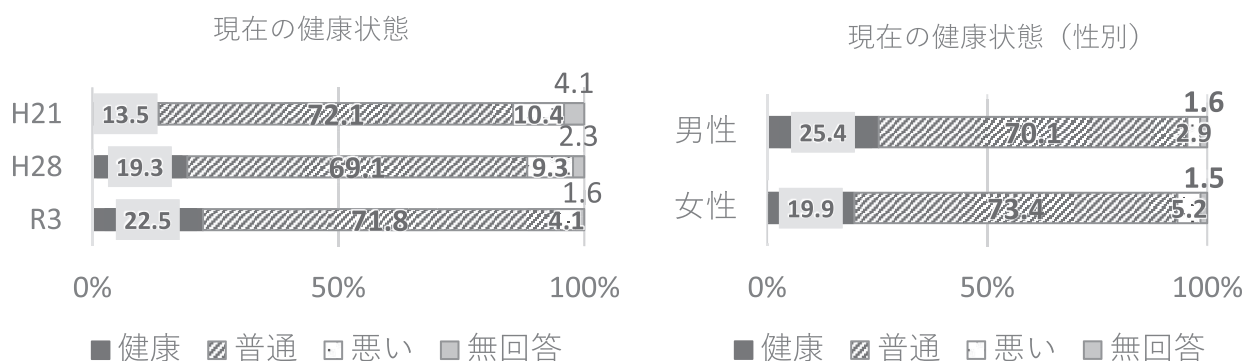
3. 歯科保健行動等

問診票より得られた主観的健康感および歯科保健行動等に関する項目別の調査結果は以下のとおりである。

(1) 現在の健康状態

現在の健康状態について、「健康」、「普通」と回答した人は全体の 94.3%で、平成 28 年度調査の 88.4%と比較すると 5.9 ポイント増加していた。

性別でみると、女性に比べ「健康」と回答する男性は 5.5 ポイント高かった。また、年齢別では、「健康」、「普通」回答者の顕著な差は認められなかった。

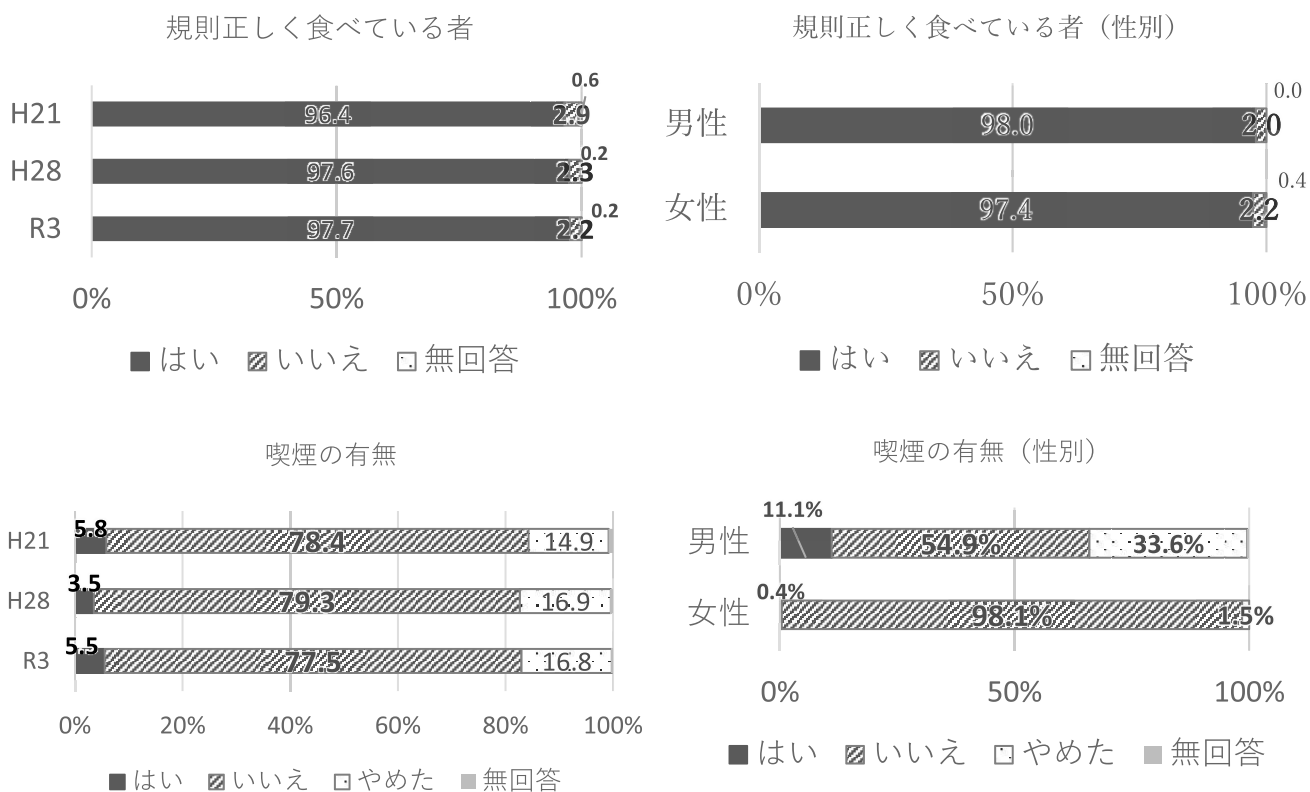


(2) 食生活及び喫煙の状況

「規則正しく食べている」と回答した人は全体の 97.7%で、平成 28 年度調査と比較すると、ほとんど変化はみられなかった。性別では、男性 98.0%、女性 97.4%が「規則正しく食べている」と回答していた。年齢別においても、ほぼすべての年齢で 95%を超えていた。喫煙は歯周病のリスクを高めるとされ、第 2 期いきいき市民健康プランでは「喫煙が及ぼす健康影響（歯周病等）についての十分な知識の普及」を行動指標として掲げている。今回、喫煙の状況を調査したところ、「喫煙している」と回答した人は全体の 5.5%であり、前回よりも増加していた。

また、喫煙者率を性別で比較すると、女性の0.4%よりも男性の11.1%の方が多かった。

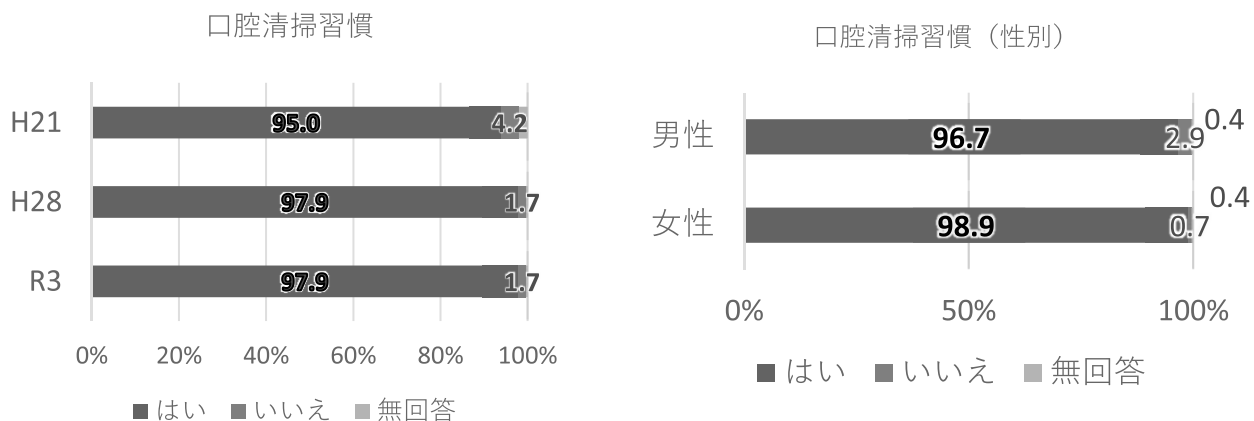
さらに、喫煙者率を年齢別及び性別で見ると、女性は75歳で6.7%である以外は、0%であるのに対し、男性では、ほとんどの年齢で10%を超えていた



(3) 歯科保健行動等

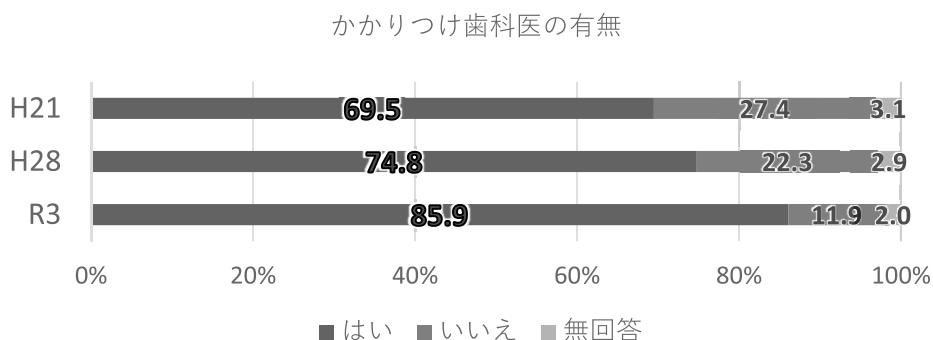
① 口腔清掃習慣について

1日1回以上歯みがき習慣のある人は全体の97.9%で、前回と同様の結果であった。また、男性(96.7%)よりも女性(98.9%)で高かった。

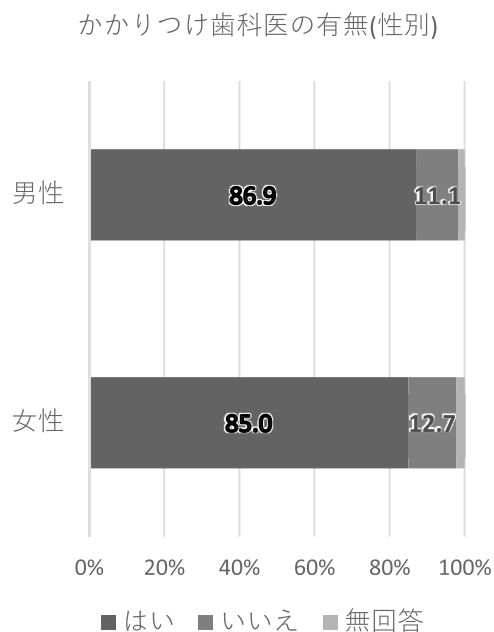
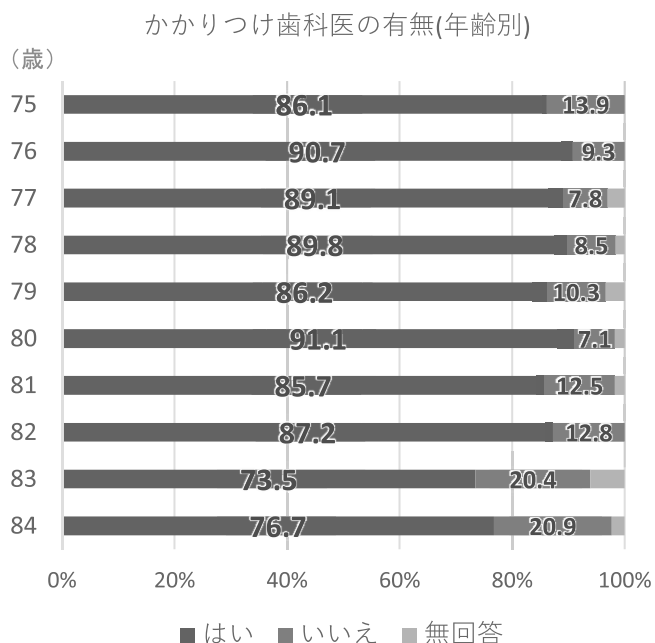


② かかりつけ歯科医の有無について

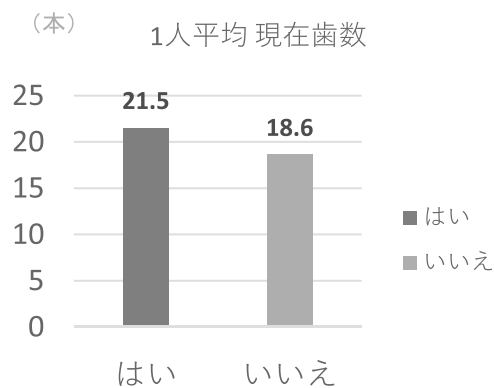
かかりつけ歯科医があると回答した人は全体の 85.9%で、平成 21 年度から調査回ごとに増加していた。



性別では、男性では女性より 1.9 ポイント高く、年齢別では、83、84 歳で減少傾向がみられた。

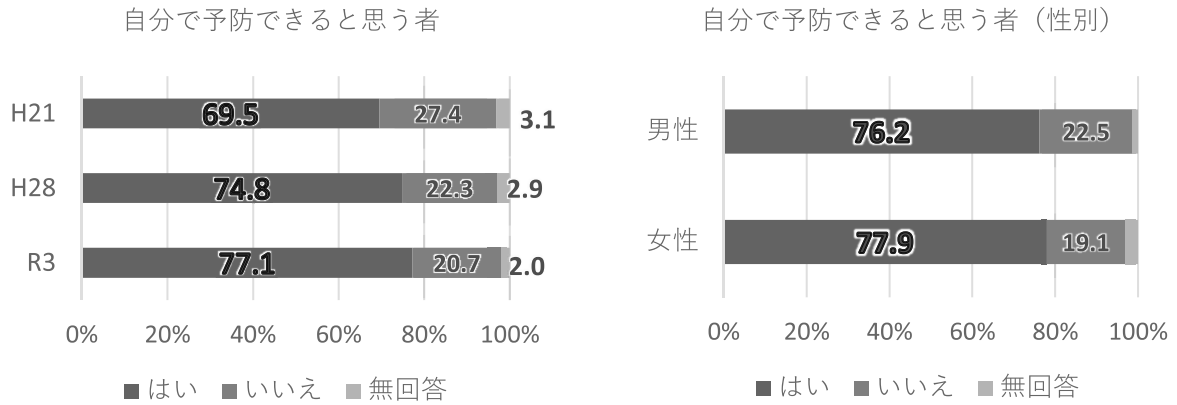


また、一人平均現在歯数は「かかりつけ歯科医がある」と回答した人が 21.5 本だったのに対し、「かかりつけ歯科医がない」と回答した人では 18.6 本であった。



③ 歯科疾患の予防について

歯科疾患は「自分で気をつけることで予防できると思う」と回答した人は全体で 77.1%であり、平成 21 年度から調査回ごとに増加していた。性別では、女性が男性に比べて 1.7 ポイント高かった。年齢別では 75 歳で 86.1%と最も高かったのに対し、80 歳では 62.5%と最も低かった。

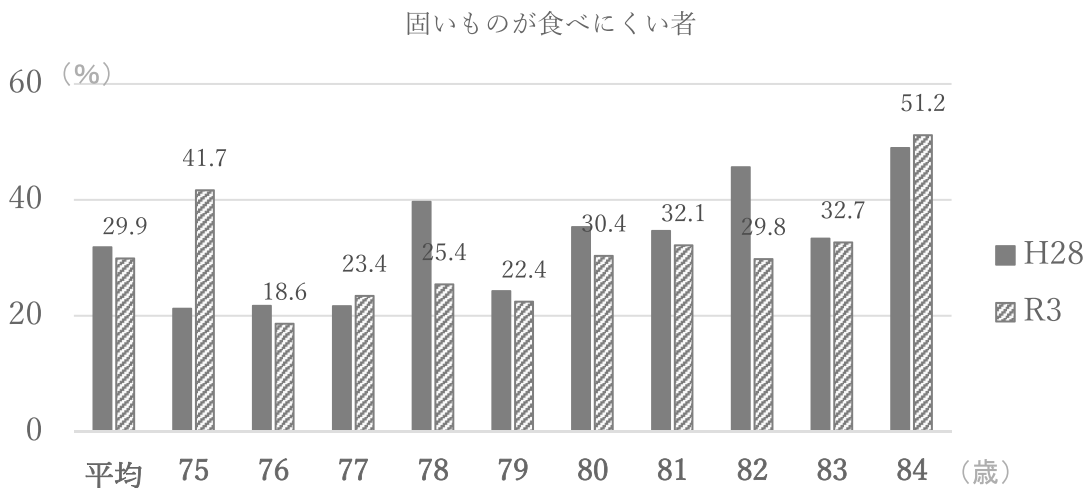


(4) 口腔機能の状況

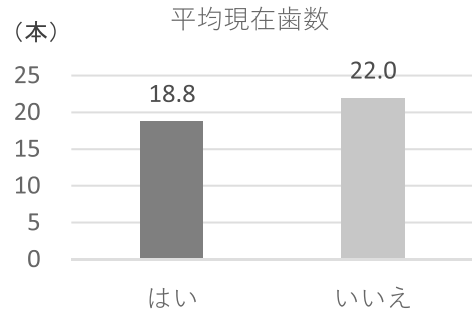
市区町村が実施する「介護予防事業（地域支援事業）」において、介護が必要になる可能性がある人と予想される人に対して判定のために用いられている「豊齢力チェックリスト」の 3 項目を使って口腔機能の状況を調査した。

① 咀嚼機能について

「半年前に比べ固いものが食べにくくなった」と回答した人の割合は全体の 29.9%であり、平成 28 年度調査の 31.8%よりも減少傾向がみられた。性差は認められなかったが、年齢の上昇とともに「固いものが食べにくい」と回答した人の割合が多くなる傾向にあった。

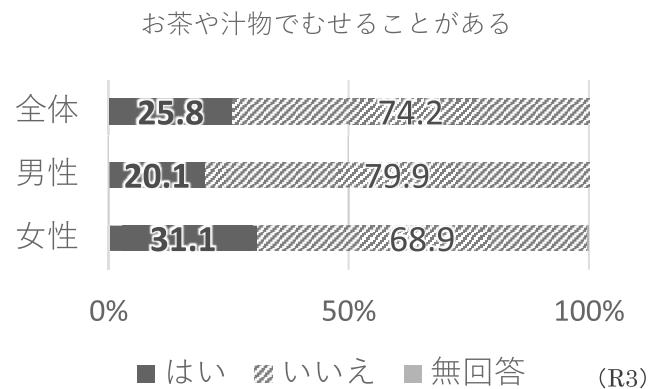
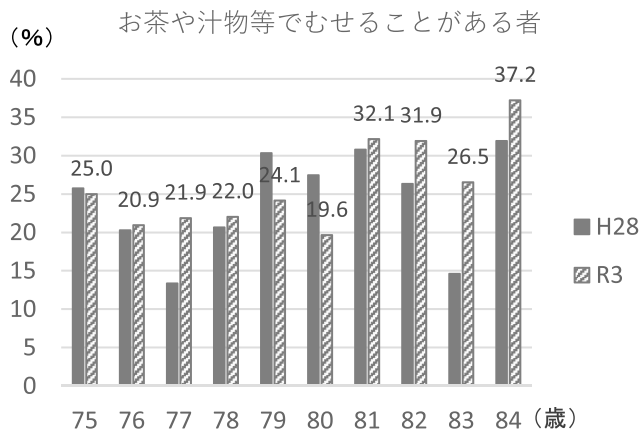


「固いものが食べにくくなりましたか」に「はい」と回答した人の一人平均現在歯数は18.8本で、「いいえ」と回答した人の22本に比べて3.2本少なかった。



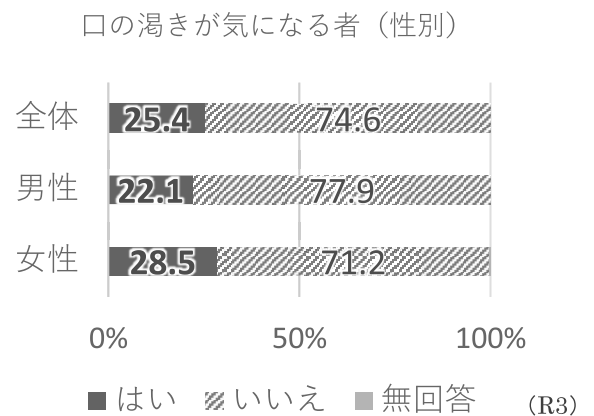
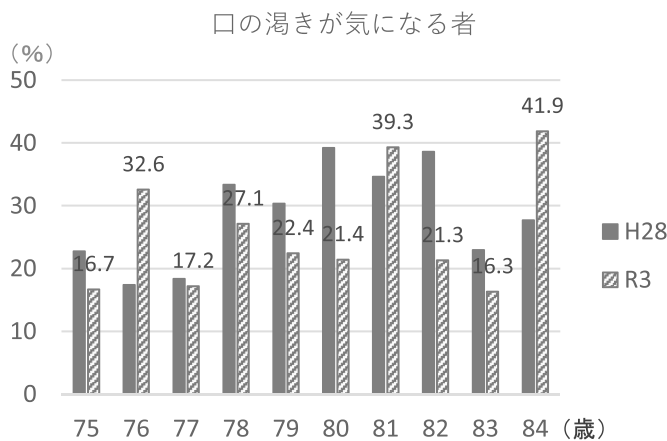
②嚥下機能について

「お茶や汁物でむせることがある」と回答した人は全体では25.8%で、平成28年度調査の24.0%よりも1.8ポイント増加していた。年齢別に見ると、おおむね加齢とともに上昇し、81歳以上ではすべての年齢において前回を上回っていた。性別では、男性の20.1%に対し、女性が31.1%と、11ポイント高かった。



③口の渇きについて

「口の渇きが気になる」と回答した人は全体の25.4%で、平成28年度調査時の28.2%よりも、2.8ポイント減少していた。性別では、男性の22.1%よりも、女性の28.5%が6.4ポイント多かった。

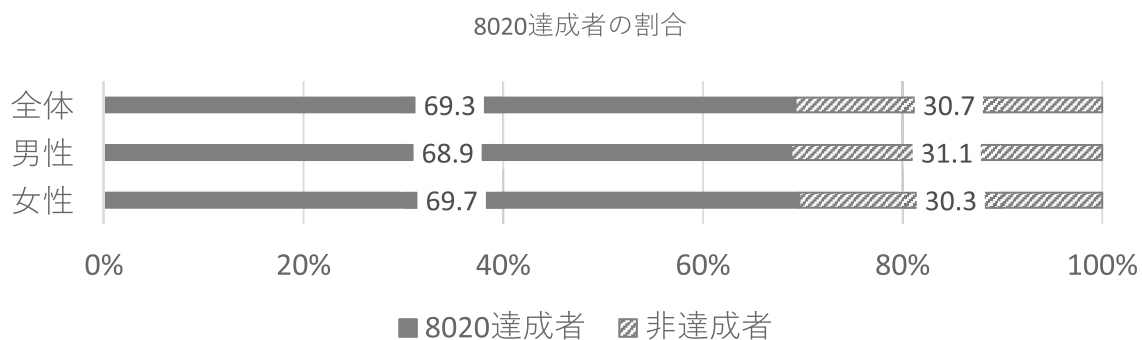


4. 8020 達成者と非達成者の口腔状況および歯科保健行動等について

調査対象を 20 本以上の自分の歯を持つ人(以下「8020 達成者」とする)と 19 本以下の人 (以下「非達成者」とする) に区分し、口腔状況および歯科保健行動等について比較した結果を示した。

(1) 8020 達成者と非達成者の性別構成

8020 達成者は全体の 69.3%であった。男性では 68.9%，女性では 69.7%であった。

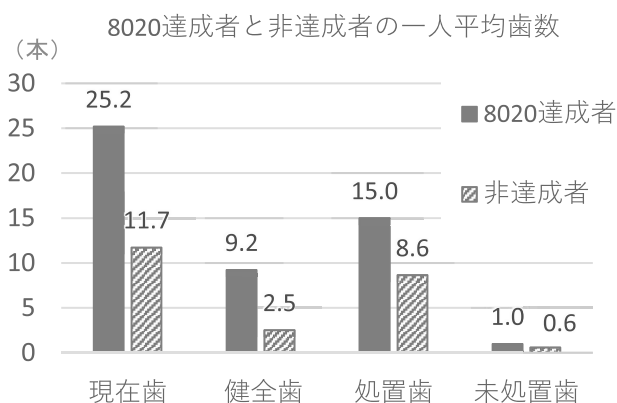


(2) 口腔状況について

① 現在歯の状況

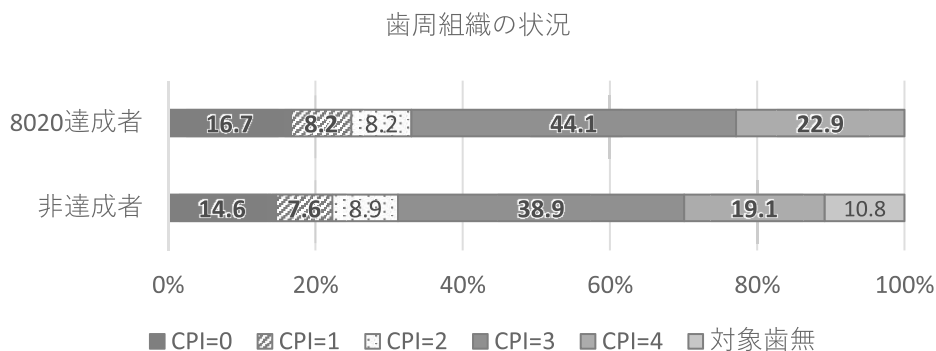
一人平均現在歯数は、8020 達成者で 25.2 本、非達成者で 11.7 本であった。

8020 達成者の現在歯の状況は一人平均健全歯数 9.2 本、処置歯数 15.0 本、未処置歯数は 1.0 本であった。非達成者では、それぞれ、2.5 本、8.6 本、0.6 本であった。



② 歯周組織の状況

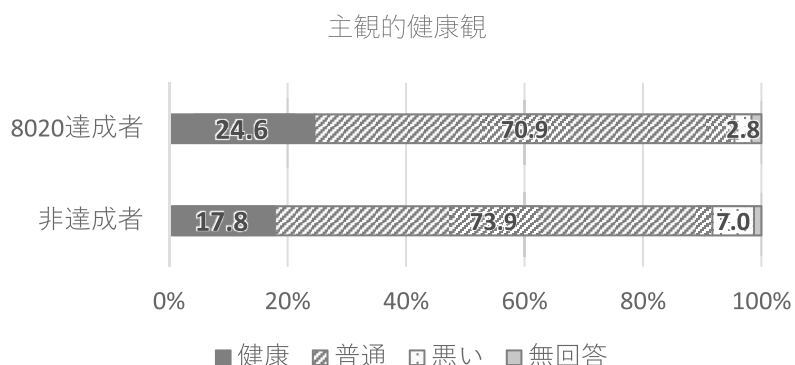
8020 達成者のうち進行した歯周炎 (旧区分 CPI 3 以上) に罹患している人の割合は 67.0%で、非達成者の 58.0%に比べ多かった。



(3) 歯科保健行動等について

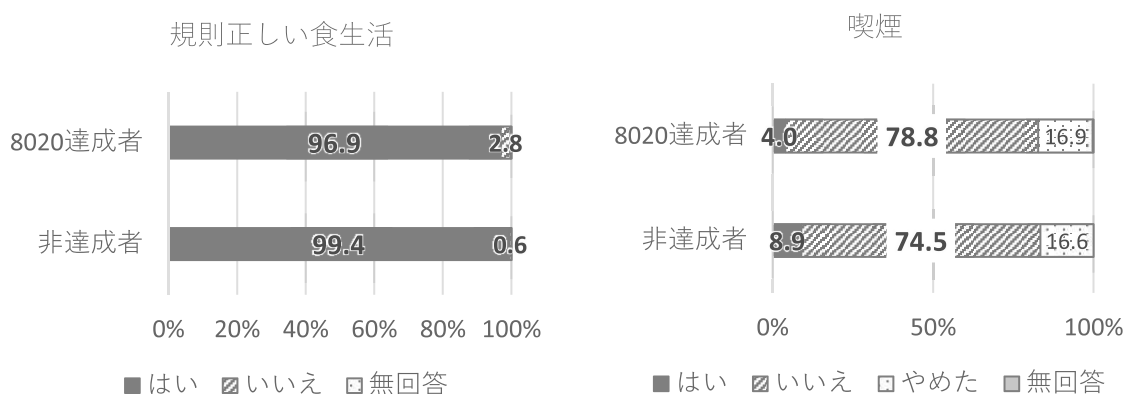
① 現在の健康状態

「健康」「普通」と回答した人は、8020 達成者の 95.5%に対し、非達成者では 91.7%であった。より多くの歯を保有している人の方が、主観的健康観が高いという結果であった。



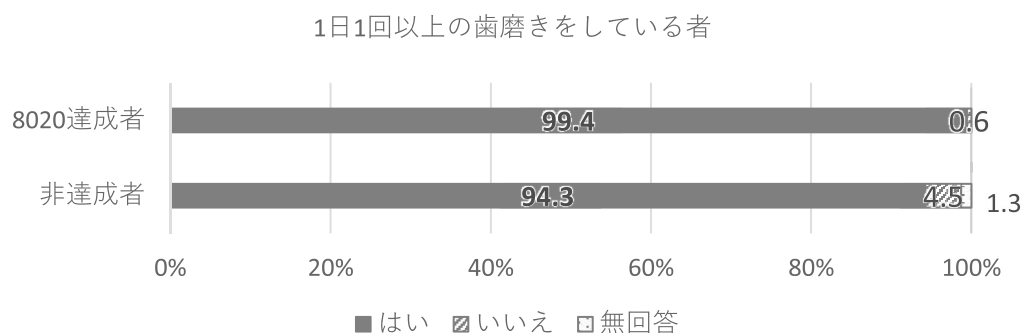
② 食生活及び喫煙について

8020 達成者の 96.9%、非達成者の 99.4%が「規則正しく食べている」と回答していた。また、喫煙者の割合は 8020 達成者では 4.0%であるのに対し、非達成者では 8.9%で、非喫煙者の喫煙率が 4.9 ポイント上回っていた。



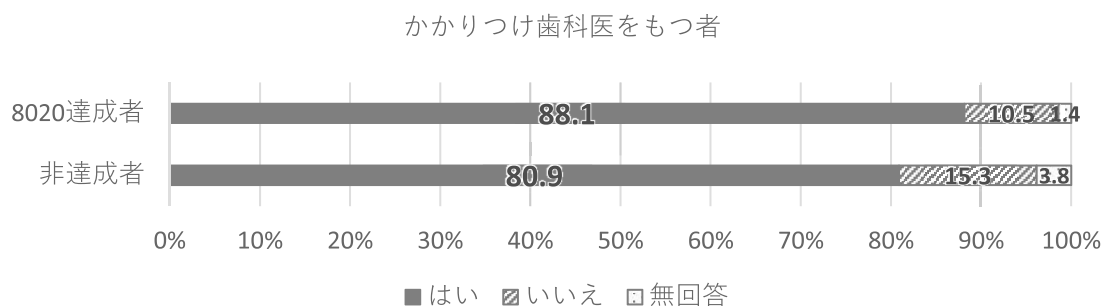
③ 口腔清掃の習慣について

「1日1回以上歯みがきをしている」と回答した人の割合は、8020 達成者が 99.4%、非達成者 94.3%で 8020 達成者の方が 1日1回以上歯みがきをしている割合が多かった。



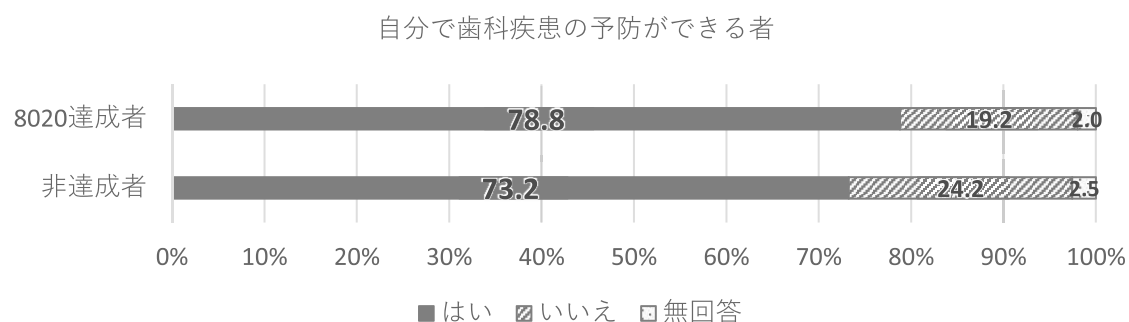
④ かかりつけ歯科医について

「かかりつけ歯科医がある」と回答した人の割合を比較すると、8020 達成者では 88.1%で、非達成者の 80.9%よりも高い傾向にあった。より多く歯を残し、8020 を達成するためには「かかりつけ歯科医」による定期的な管理の必要性を示唆する結果であった。



⑤ 歯科疾患の予防について

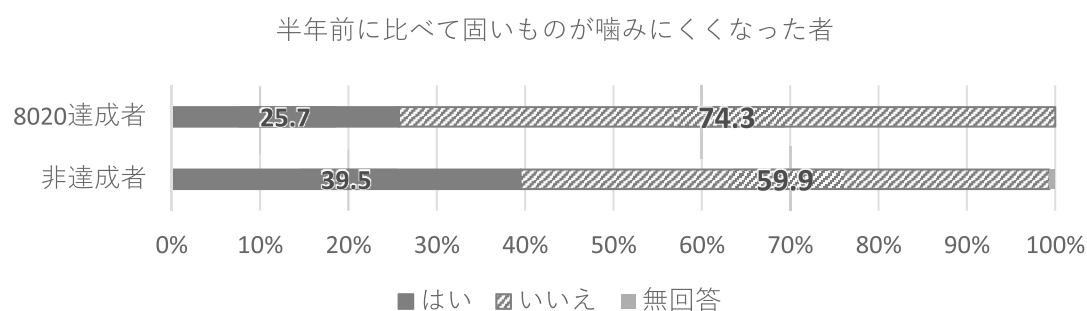
歯科疾患は「自分で予防できると思う」と回答した人の割合は、8020 達成者では 78.8%で、非達成者の 73.2%を 5.6 ポイント上回った。



(4) 口腔機能の状況について

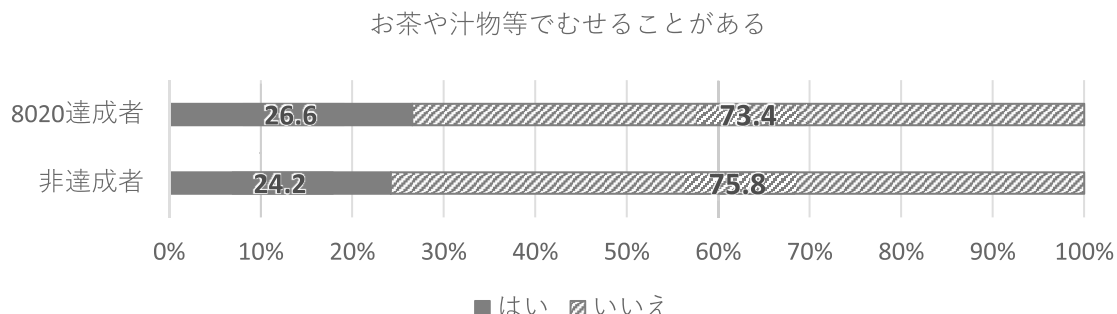
① 咀嚼機能について

8020 達成者では「固いものが食べにくい」と回答した人が 25.7%であったのに対し、非達成者では 39.5%となっており、8020 達成者は咀嚼機能が維持されている者が多かった。



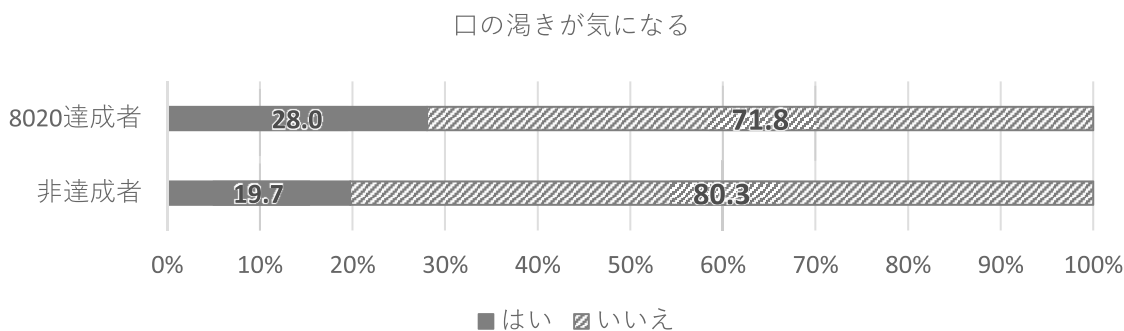
② 嚥下機能について

「お茶や汁物等でむせる」と回答した人の割合は 8020 達成者では 26.6%で、非達成者の 24.2%よりも多い傾向にあった。



③ 口の渇きについて

8020 達成者のうち、「口の渇きが気になる」と回答した人は 28.0%であり、非達成者の 19.7%よりも多い傾向が認められた。



5. まとめ

本調査において、80歳（75歳～84歳）で20本以上の現在歯を保有している者の割合は69.3%で、全国（51.2%：平成28年度歯科疾患実態調査）と比較すると18.1ポイント高かった。平成28年度の前回調査（64.1%）と比較しても本市の8020の達成状況は上向きではあるが、目標値78%（第2期いきいき市民健康プラン後期計画における歯・口の健康づくり指標）には達していない状況である。

前回調査と比較し、現在歯数は増加しており、喪失歯に対する補綴治療完了者の割合も78.7%と前回（64.8%）よりも増加していた。歯周組織の状況においては、進行した歯周炎（CPI3以上）に罹患しているものは全体の64.2%であり、前回（65.3%）よりわずかに減少。口腔清掃習慣や、かかりつけ歯科医への受診といった「歯科保健行動」は良好であった。また、口腔清掃習慣があり、かかりつけ歯科医をもつ者では、現在歯数が多い傾向にあり、現在歯数が多いことで主観的健康観が高い傾向にあった。

歯を失ったとしても、入れ歯などの補綴治療が完了している者では、咀嚼機能の低下を回復できる可能性があることから、生涯にわたり自分の歯の健康を保持し、適切に受診行動につながることは高齢者の生活の質の向上に寄与する可能性があることが示された。

令和3年度 8020達成率調査 診査票

(仙台市提出用)

No. _____

太枠の中をご記入ください。

診査日 令和3年 月 日

ふりがな 氏名		住所	区
電話番号	—	生年月日	昭和 年 月 日 (歳) 性別 男・女

あてはまる項目の回答に○印をご記入ください

質問	回答
1 あなたの現在の健康状態はいかがですか。	健康・普通・悪い
2 食事を規則正しく食べていますか。	はい・いいえ
3 一日一回以上は歯みがきをしていますか。	はい・いいえ
4 定期健診や歯石除去などの予防処置を受けている かかりつけの歯科医がありますか。	はい・いいえ
5 たばこを吸っていますか。	はい・いいえ・やめた
6 歯や歯ぐきの病気は自分で気をつけることで予防することが できると思いますか。	はい・いいえ
7 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい・いいえ
8 お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい・いいえ
9 口の渇きが気になりますか	はい・いいえ

ここに受診券をのりで貼付してください

① 現在歯・喪失歯の状況 (喪失歯のうち、補綴処置の不要な歯には×を記入)

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
右								左							
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

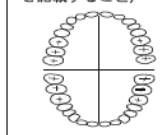
健全歯数(ノ)	未処置歯数(C)	処置歯数(O)	現在歯数 ②~④の合計	要補綴歯数(△)	欠損補綴歯数(◎)
②	③	④	⑤	⑥	⑦

⑦ 欠損補綴物等の記載

(Br等の補綴物の記号を記載すること)

【義歯】

- なし
- あり (使用・使用していない)
- 上顎 (FD・PD)
- 下顎 (FD・PD)



⑧ 歯肉の状況

17または16	11	26または27
BOP		
PD		
BOP		
PD	47または46	36または37
	31	

⑨ 個人コード (最大値)

歯肉出血	
歯周ポケット	

※9 除外歯を含めない

医療機関名・診査医名

⑩ 口腔清掃状態

1. 良好 2. 普通 3. 不良

【歯石の付着】

1. なし 2. 軽度 (点状) 3. 中等度 (帯状) 以上

⑪ その他の所見 あり・なし

- 歯 (楔状欠損等)
- 歯列咬合
- 顎関節
- 口腔粘膜
- その他 ()

⑫ 判定区分【該当番号に○, 2, 3の場合は, a-eにも○をつけること】

1. 異常なし

- 未処置歯, 要補綴歯, その他の所見が認められず
- CPI: 歯肉出血0, かつ, 歯周ポケット0

2. 要指導

- 未処置歯, 要補綴歯, その他の所見が認められず
- a. CPI: 歯肉出血1, かつ, 歯周ポケット0
- b. 口腔清掃状態不良
- c. 歯石の付着あり (軽度, 中等度以上)
- d. その他指導を要する所見あり

3. 要精密検査

- a. CPI: 歯周ポケット1
- b. CPI: 歯周ポケット2
- c. 未処置歯あり
- d. 要補綴歯あり
- e. 詳しい検査や治療が必要な所見あり

第2期いきいき市民健康プラン「歯と口の健康づくり」
8020 達成率調査 報告書（令和3年度）

令和4年3月

発行：仙台市健康福祉局健康政策課

〒980-8671

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

Tel 022-214-3894 Fax 022-214-4446

